

# 2014年3月期
# 決算説明会

2014年5月15日
株式会社ユタカ技研

# ご説明内容

YUTAKA Clean for the Future

Ⅰ．2014年3月期 決算概況

Ⅱ．2015年3月期 見通し

Ⅲ．事業状況

# 2014年3月期

# 決算概況

# 14年3月期連結決算概況

（単位：億円）

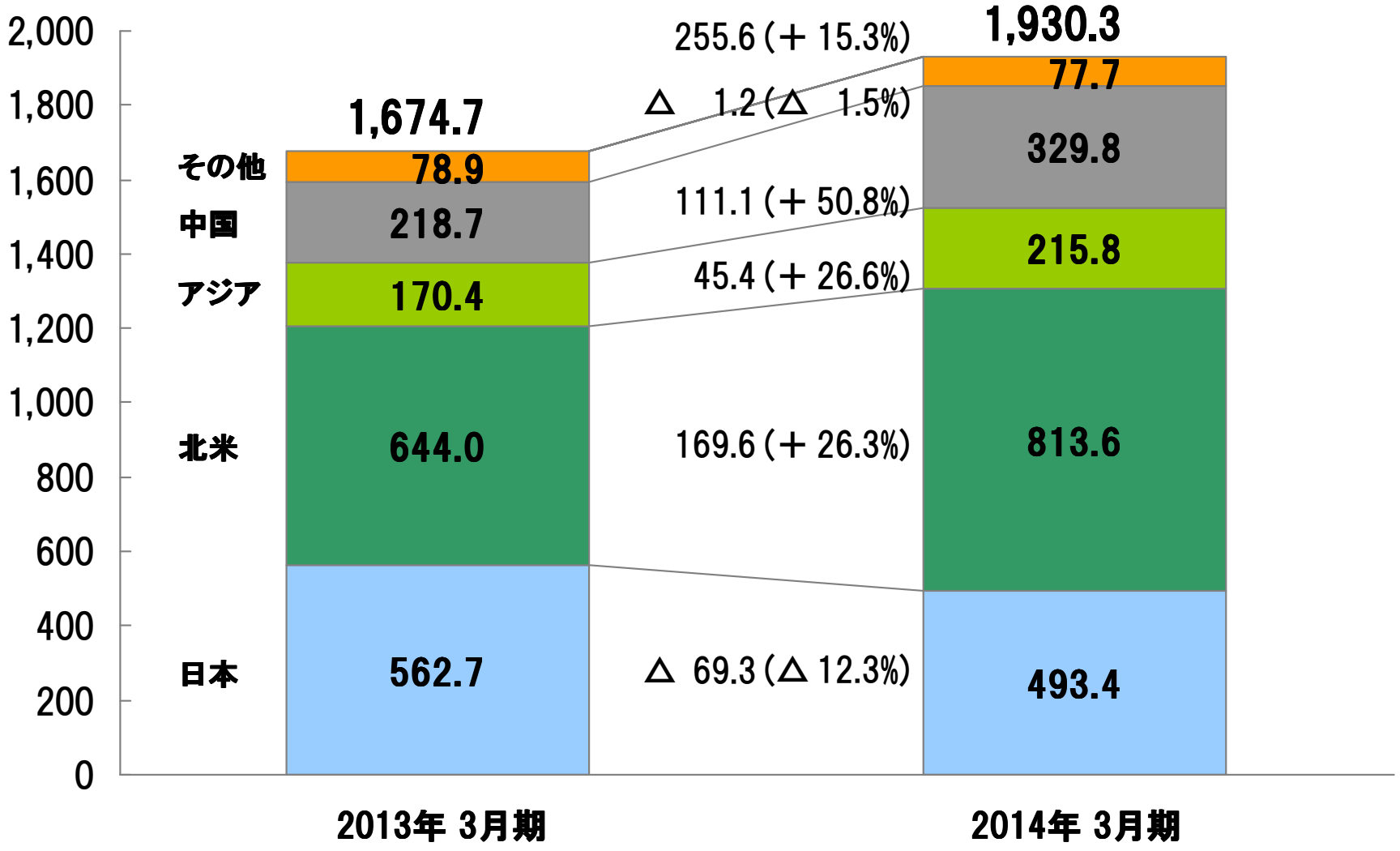
| | 2013年 3月期 | 2014年 3月期 | 増　減 |
|---|---|---|---|
| 売上高 | 1,674.7 | 1,930.3 | 15.3 % |
| 営業利益 | 68.4 | 112.0 | 63.7 % |
| 経常利益 | 75.2 | 114.5 | 52.2 % |
| 当期純利益 | 38.9 | 64.3 | 65.1 % |
| 1株当り当期純利益 | 262.98円 | 434.15円 | 171.17円 |
| 1株当り配当金 | 36.00 円<br>＊中間 18円，期末 18円 | 38.00 円<br>＊中間 19円，期末 19円 | 2.00円 |
| | ($1=¥82.91) | ($1=¥100.22) | |

**海外における受注の増加に加え、円安効果もあり増収増益**

# 14年3月期連結決算概況 地域別売上高

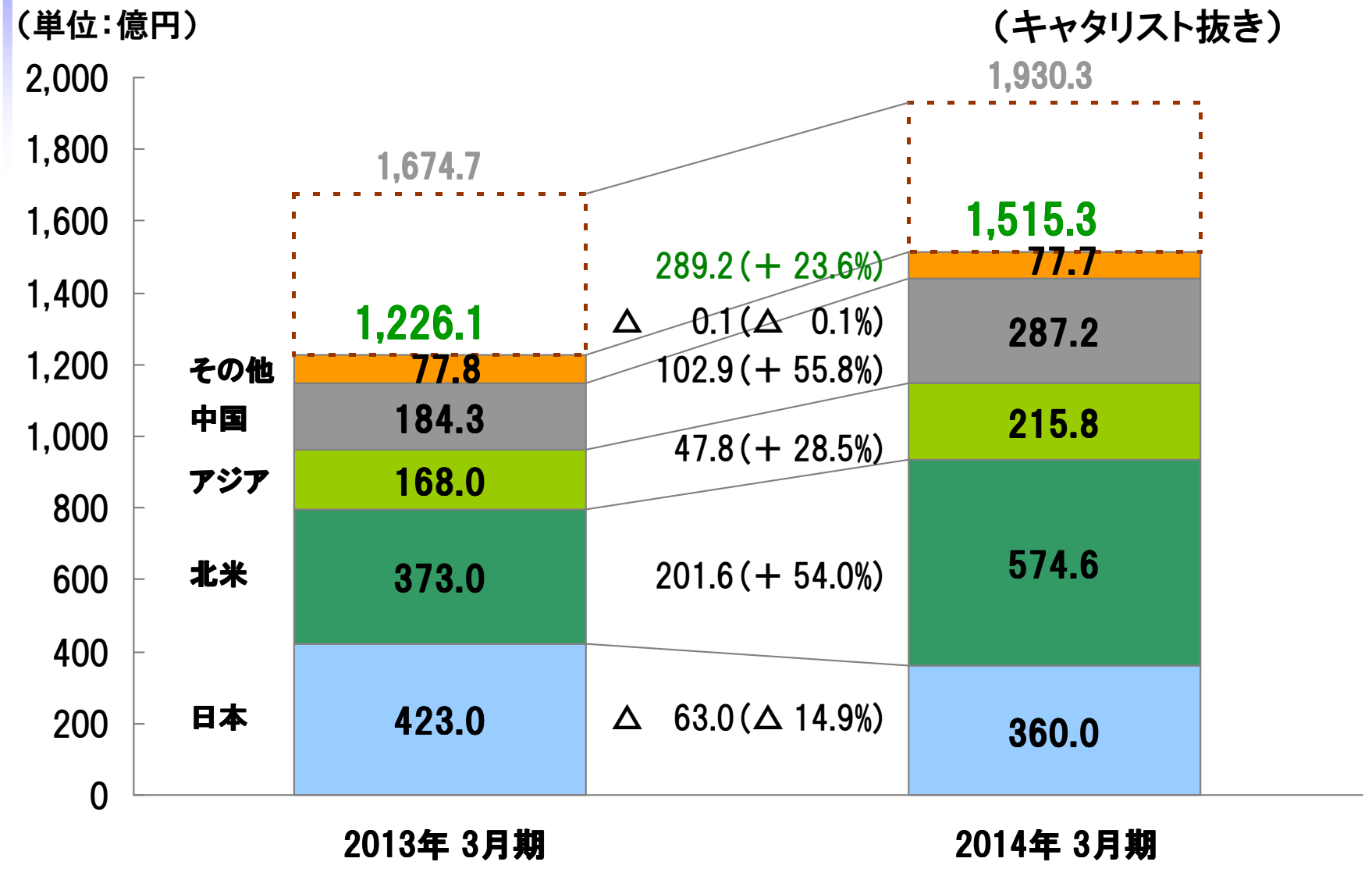
（単位：億円）

（セグメント間の内部売上高及び振替高を除く）




**北米・アジア・中国の受注増により増収**

# 14年3月期連結決算概況 地域別売上高

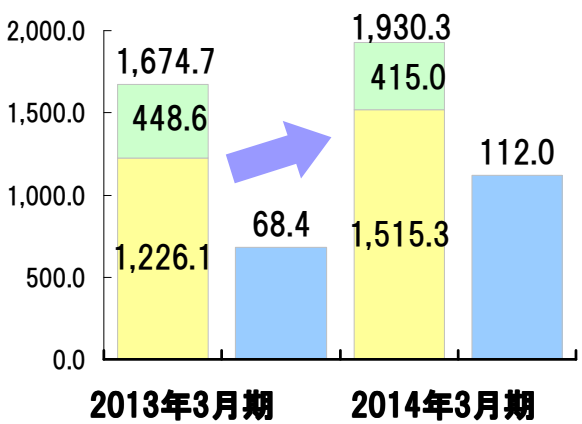


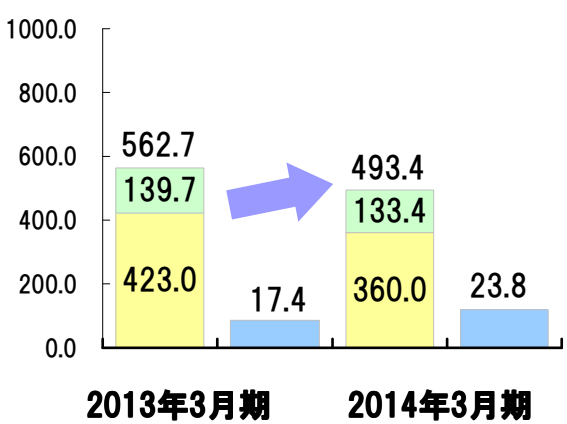

**キャタリスト抜きでも北米・アジア・中国で増収**

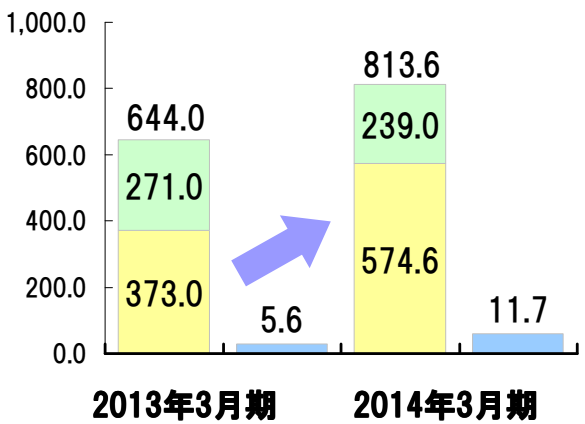
# 14年3月期連結決算概況 地域別営業利益

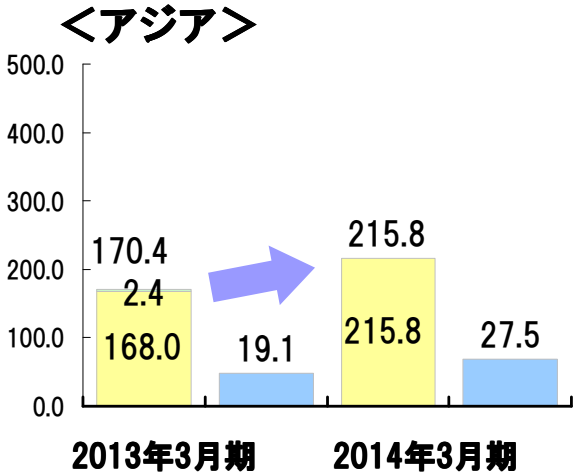
（単位：億円）

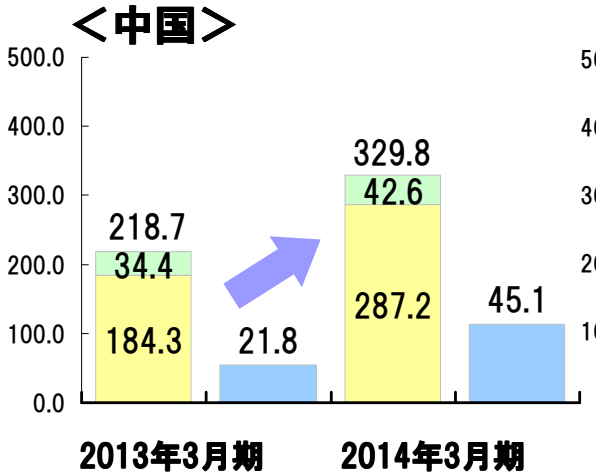


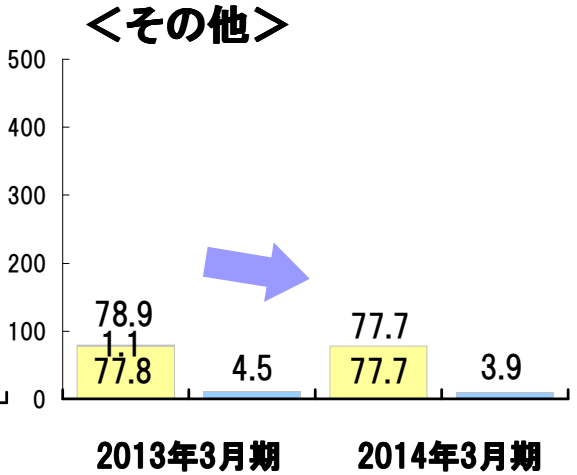



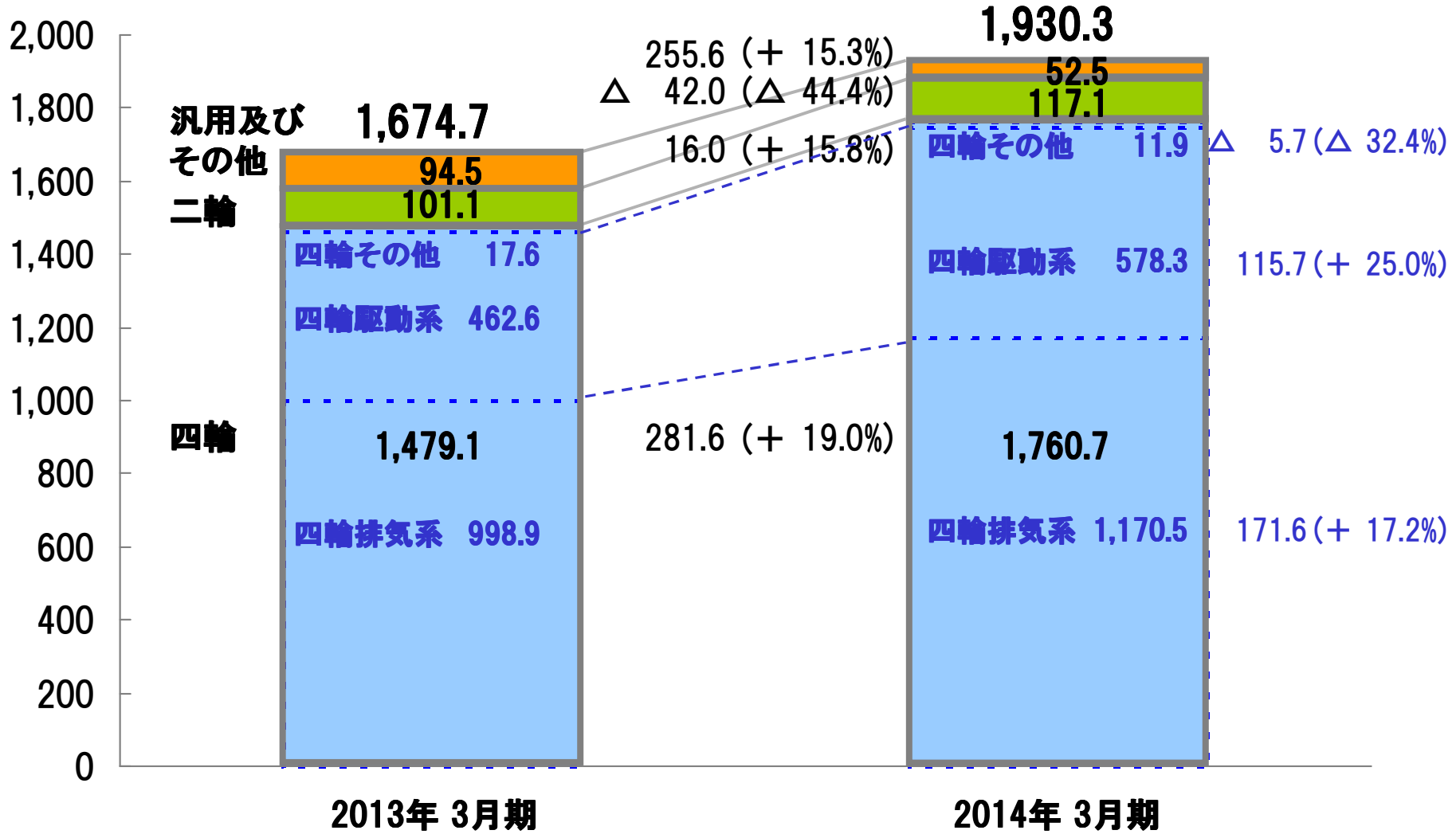




**概ねすべての地域で増益**

# 14年3月期連結決算概況 製品別売上高

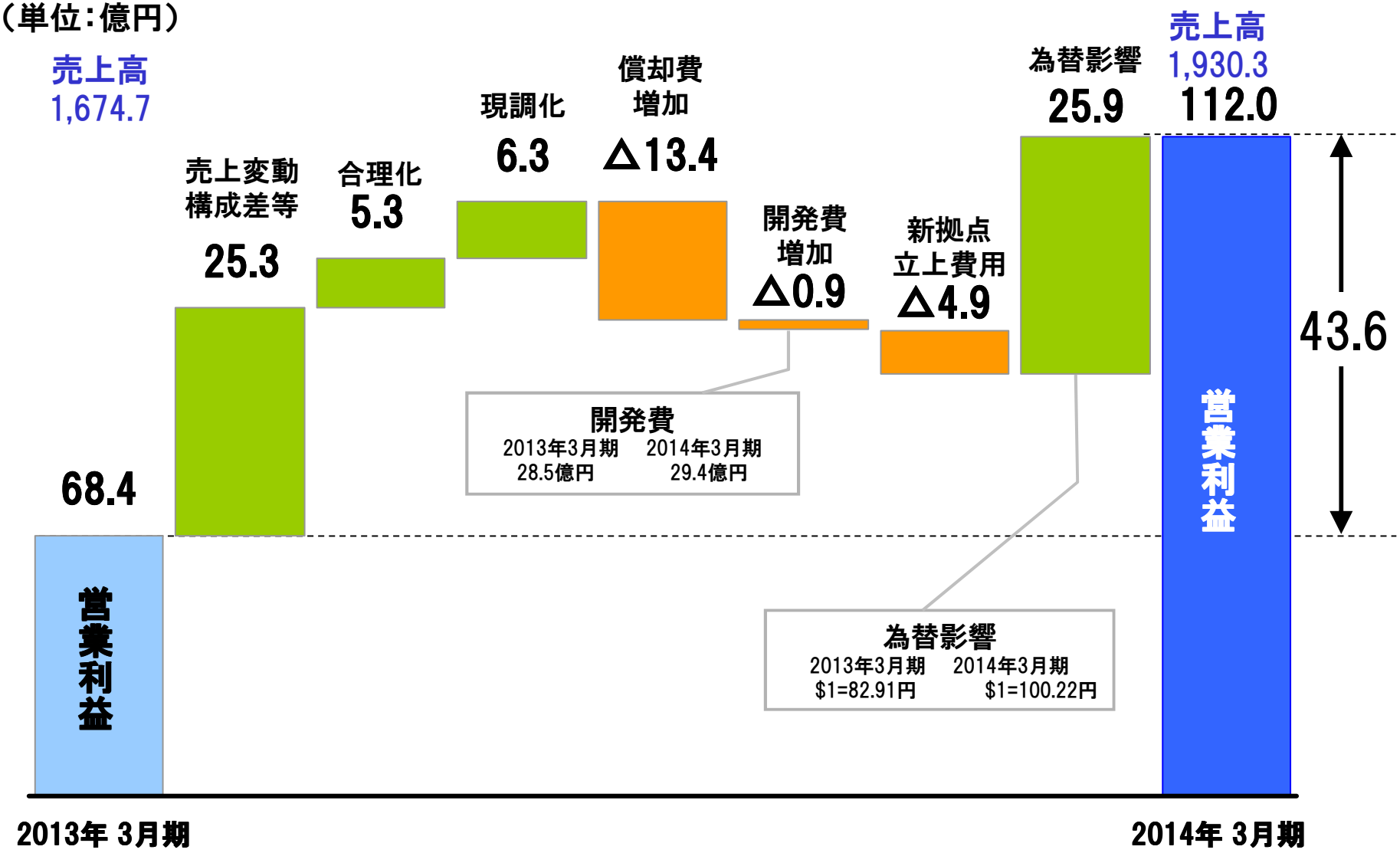
（単位：億円）




**自動車部品四輪の受注増により増収**

# 14年3月期連結決算概況 営業利益 増減要因

（単位：億円）




増収・円安効果に加え、合理化等の推進により費用増を吸収し大幅増益

# 2015年3月期
# 見通し

# 15年3月期連結見通し

（単位：億円）

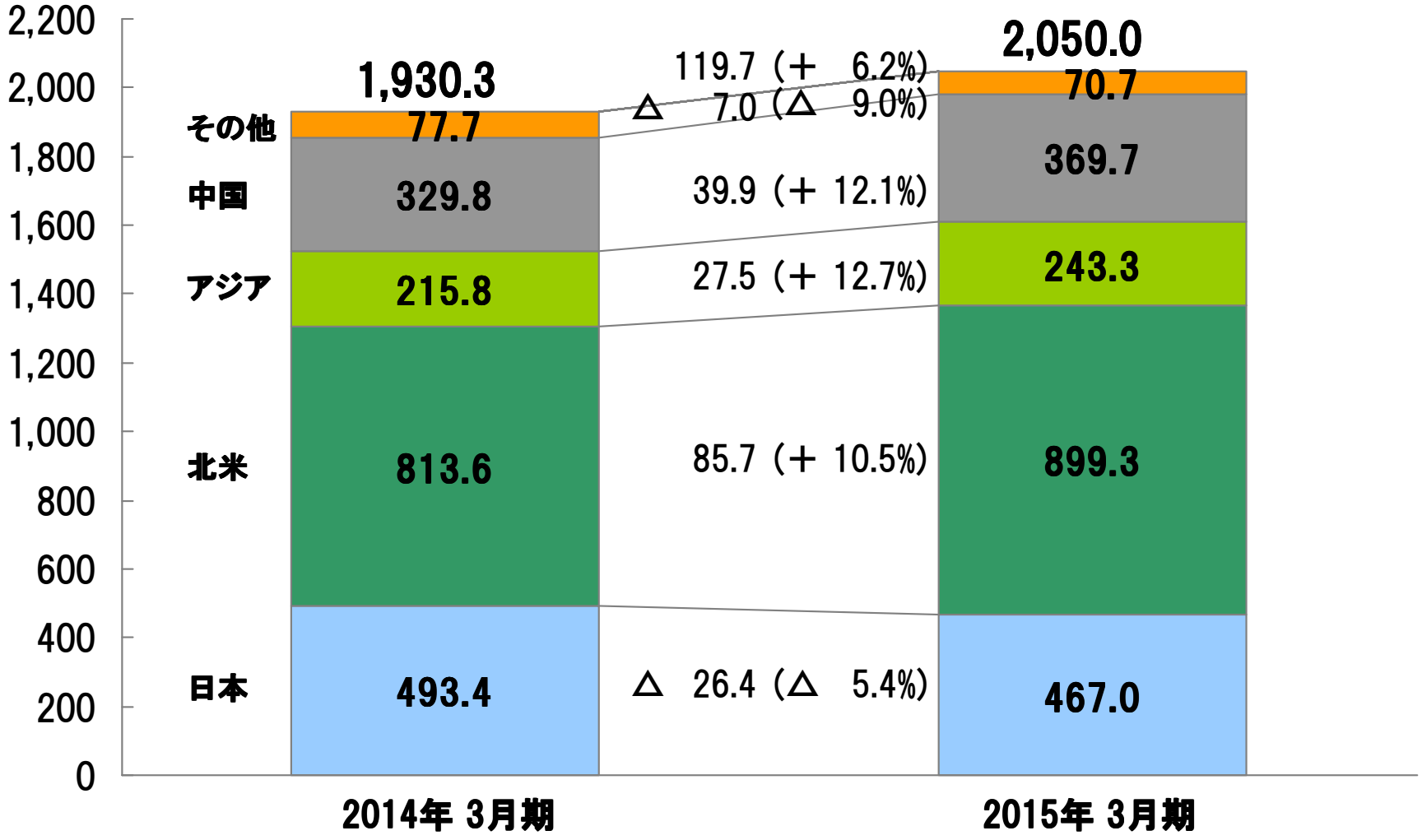
| | 2014年 3月期 | 2015年 3月期 | 増　減 |
|---|---|---|---|
| 売上高 | 1,930.3 | 2,050.0 | 6.2 % |
| 営業利益 | 112.0 | 110.0 | △1.8 % |
| 経常利益 | 114.5 | 110.0 | △4.0 % |
| 当期純利益 | 64.3 | 62.0 | △3.6 % |
| 1株当り当期純利益 | 434.15円 | 418.39円 | △15.76円 |
| 1株当り配当金 | 38.00円<br>＊中間 19円，期末 19円 | 40.00円<br>＊中間 20円，期末 20円 | 2.00 円 |
| | ($1=¥100.22) | ($1=¥100.00) | |

概ね14年3月期と同水準

# 15年3月期連結見通し 地域別売上高

（単位：億円）

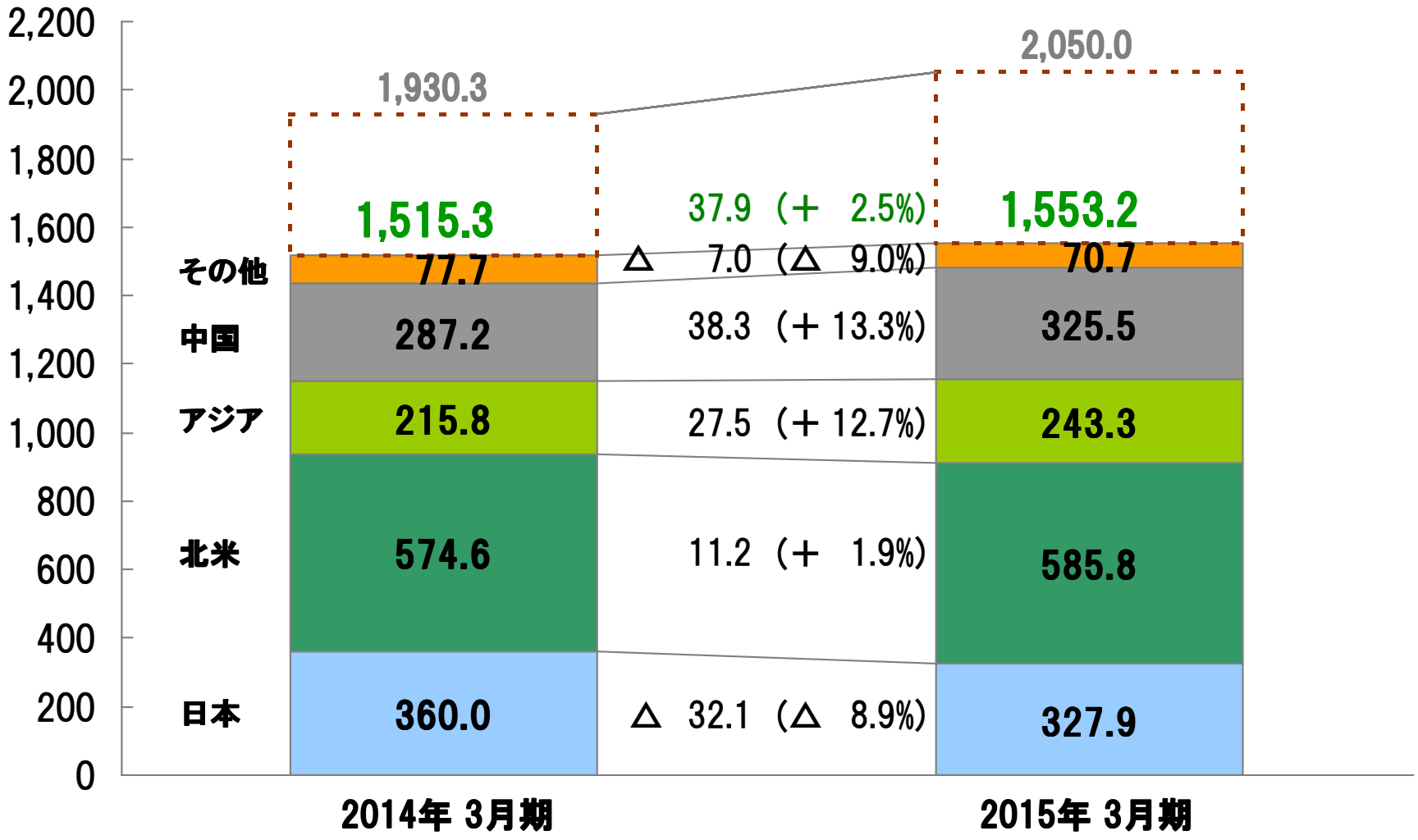
（セグメント間の内部売上高及び振替高を除く）




**北米・アジア・中国地域で増収の見通し**

# 15年3月期連結見通し 地域別売上高

（単位：億円）　　（キャタリスト抜き）

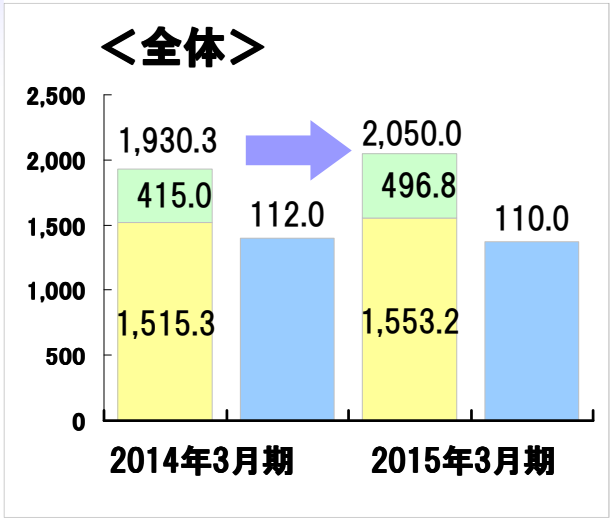


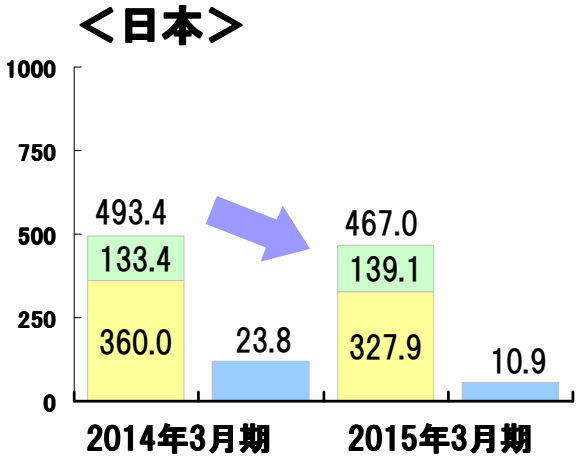

**キャタリスト抜きでは概ね14年3月期並みの見通し**

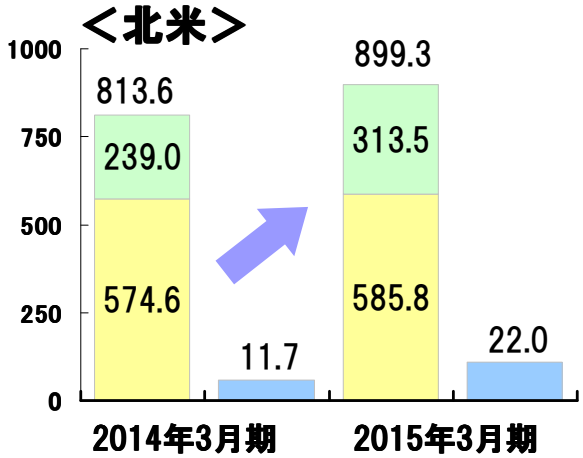
# 15年3月期連結見通し 地域別営業利益

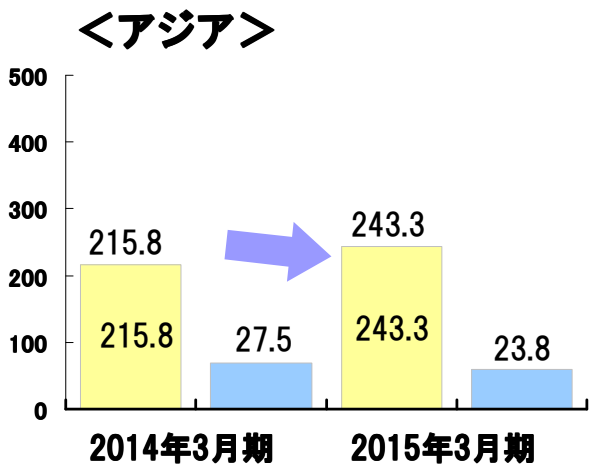
（単位：億円）

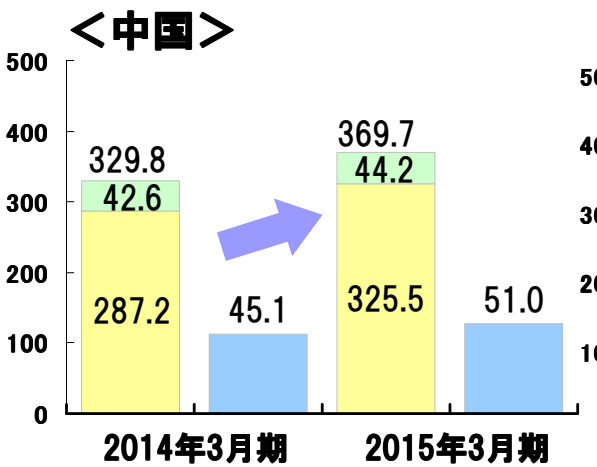


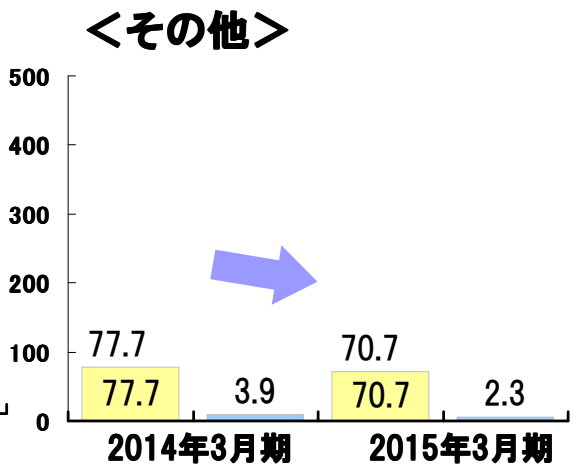



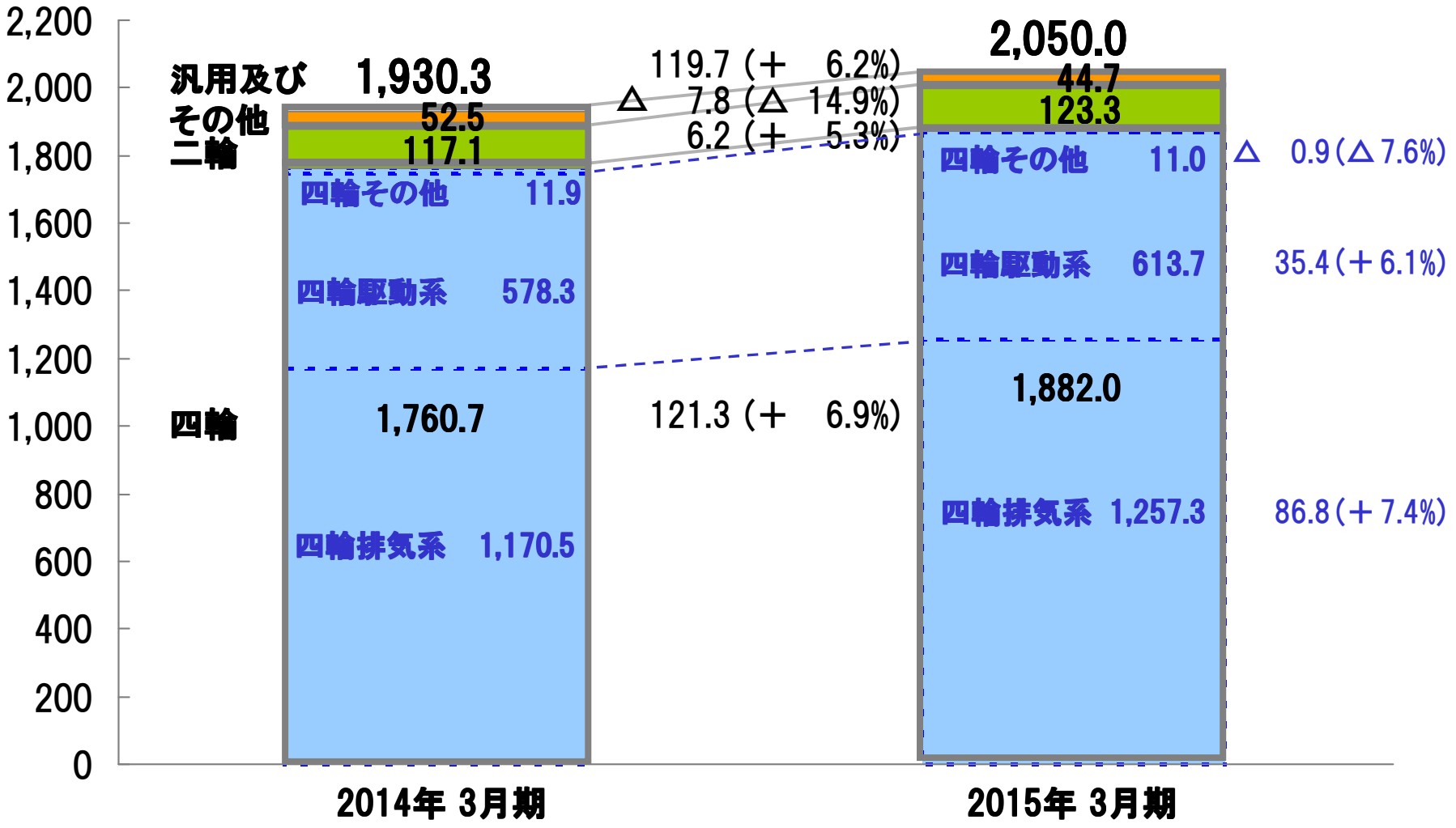




**北米・中国地域において増益見通し**

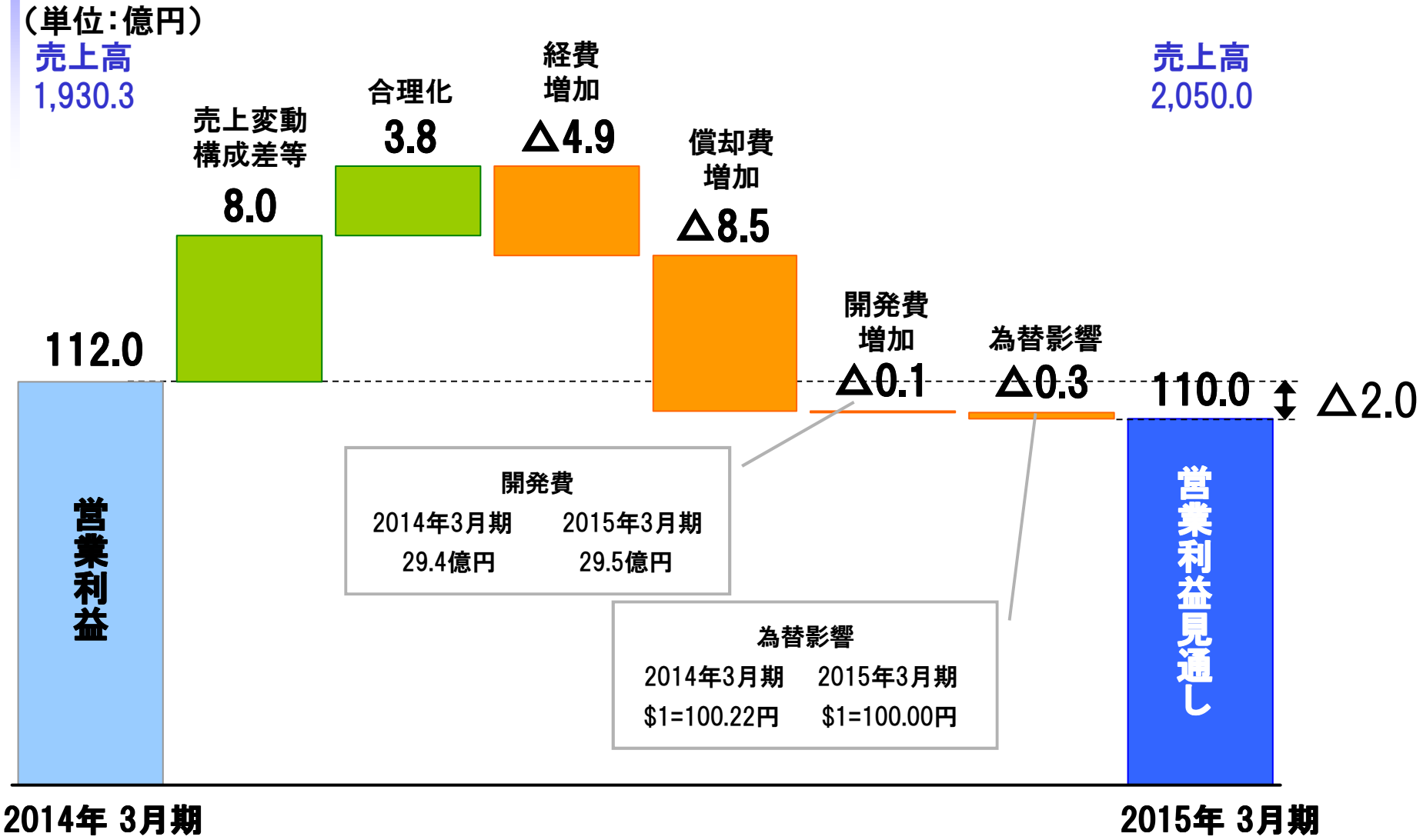
# 15年3月期連結見通し 製品別売上高

（単位：億円）




**自動車部品四輪の受注増により増収**

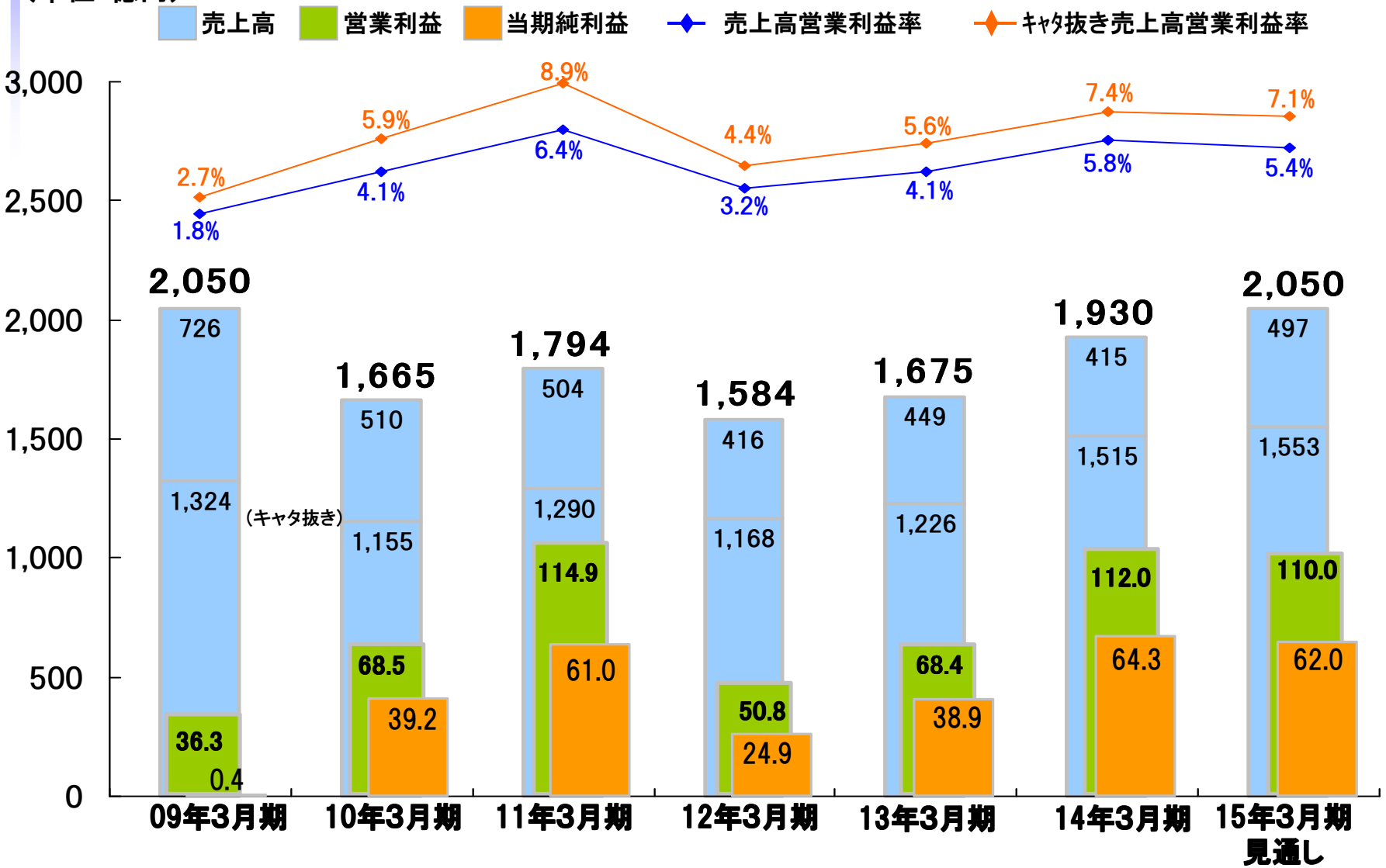
# 15年3月期連結見通し 営業利益 増減要因




**新製品・新機種対応の費用増を増収効果等で吸収し**
**営業利益は14年3月期と同水準を確保**

# 15年3月期連結見通し 売上及び利益の推移

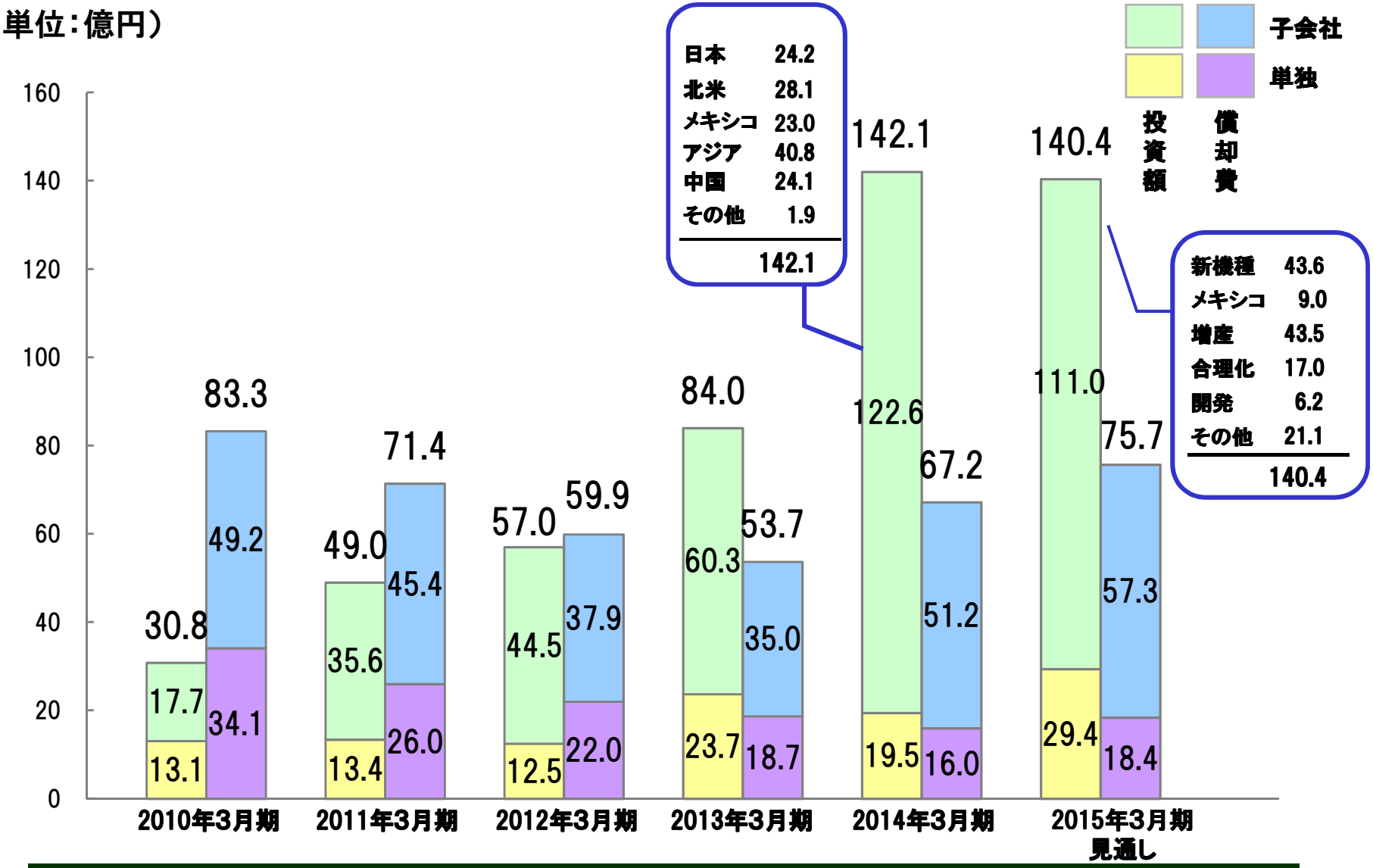
（単位：億円）




**15年3月期も14年3月期と同水準の利益を確保**

# 15年3月期連結見通し 設備投資額の推移

（単位：億円）




**新機種・新製品及び増産対応を実施**

# 事業状況

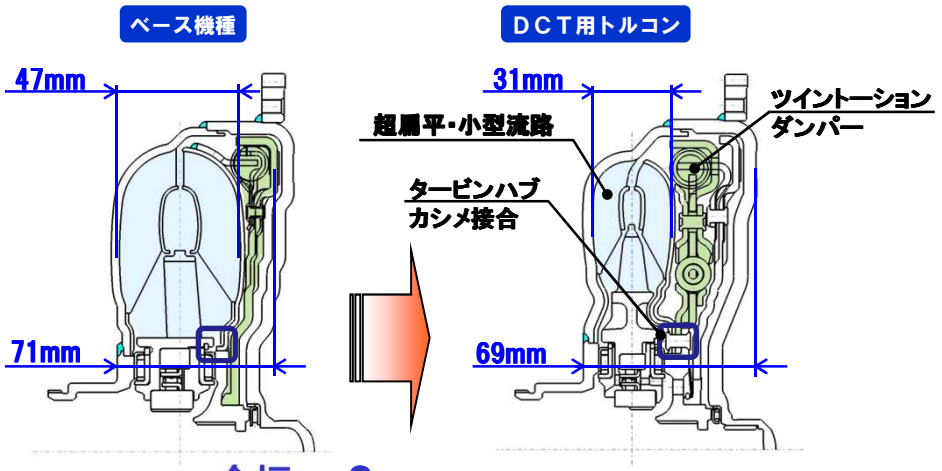
# 世界初DCT用トルコン開発

## 世界初となるDCT(Dual Clutch Transmission)用のトルクコンバータを開発

### DCT用トルコン

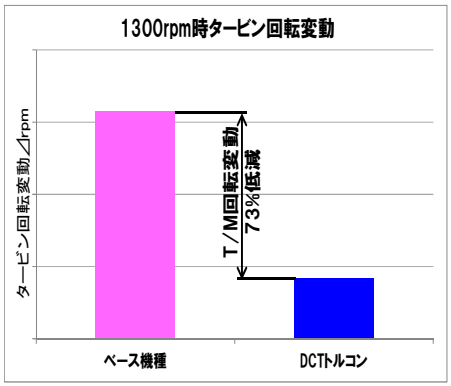


### 超扁平・小型化




全幅:−2mm

### 制振性能




制振性能:73%向上(当社比)

### Yutakaの開発力

新開発した制振機構を付加して
コンパクトで高性能なトルコンを開発

・高い制振性能を有するツイントーションダンパーを採用
・得意の流体設計技術で超扁平・小型化を実現

### Yutakaの技術力

高精度なプレス・ロー付け技術により
超扁平・コンパクトな製品製造を実現

・精密金型内製技術により精密プレス加工を実現
・新開発カシメ仮留製法による、低歪端面ロー付け

**高い制振性能を有する世界初DCT用トルコンを開発**

# アジア地域における競争力強化

## YMI(インドネシア)　既存第2工場を拡張し、本格的な四輪事業をスタート。

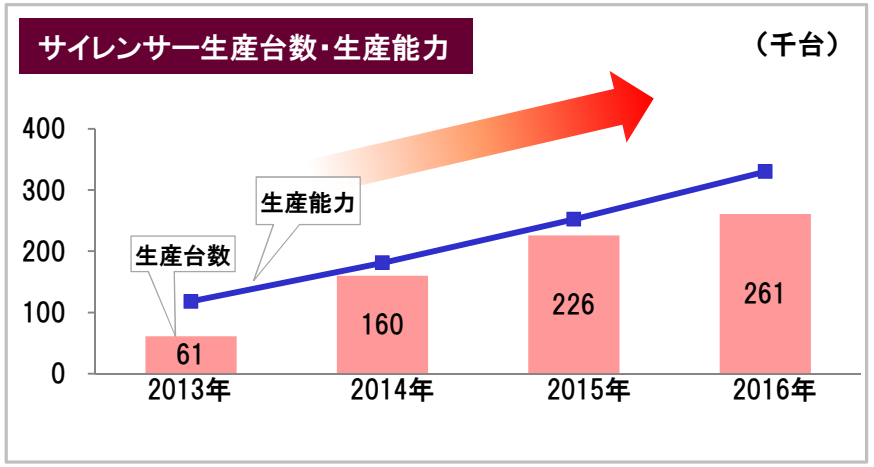
YMI第2工場ではサイレンサー、キャタコンバータ
2つの排気系製品の生産を行う

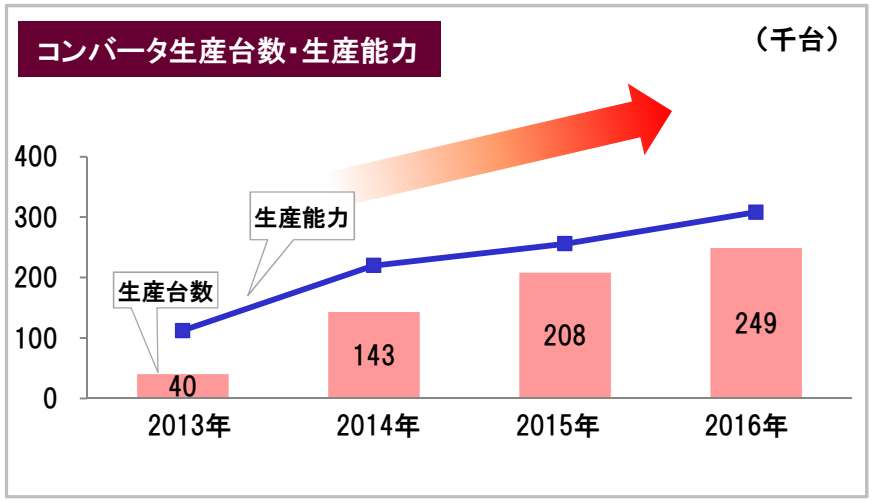





【建物面積】　9,200㎡ ＋ 5,760㎡

既存　拡張部分



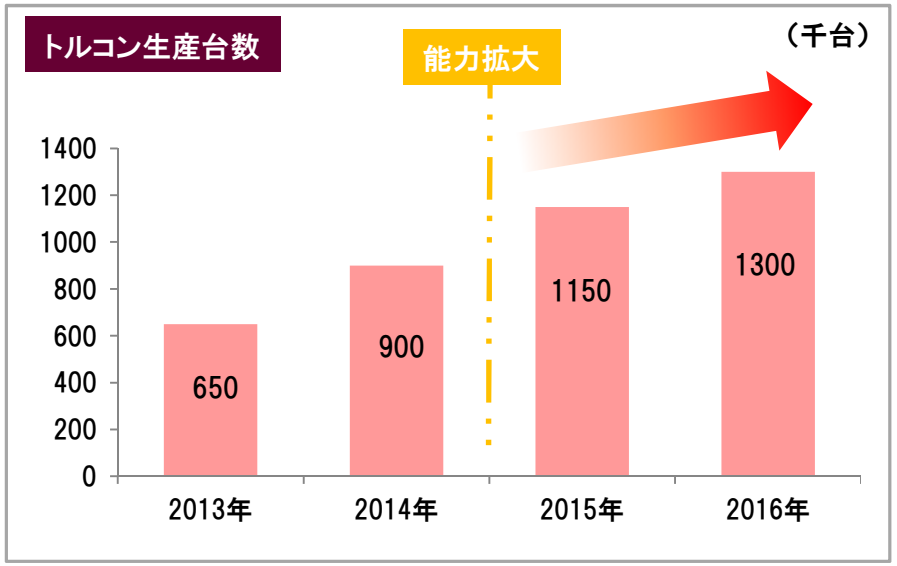




**既存第2工場の拡張工事が完了し、2014年1月より稼動スタート**

# 中国拠点CFY　トルコン能力拡大

**CFY(中国)**　中国での生産拡大に対応するため建屋を増築し、トルコンラインを2ラインから3ラインに増設。2015年1月より稼動をスタート。




＜Yutaka中国拠点＞






■増設するラインの特徴

「自動化技術を採用した高効率ライン」

・サイクルタイム短縮、生産量13%UP

・省人化への積極的取り組み
　要員数33%削減

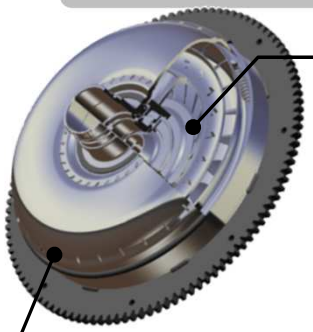
**高効率トルコンライン増設により生産能力拡大へ**

# Yutaka新製品のご紹介　＜主幹製品の進化＞

## VEZELに搭載されているYutaka製品

2013年12月発売　Honda VEZEL

**トルクコンバータ**



高精度新
ブレードセット技術

流体設計技術で扁平・コンパクト




**キャタリストコンバータ**



薄板化及びプレス一体化成形
で廉価・軽量

**サイレンサー**



薄板化による軽量化

高出力・静粛性の両立を実現

# 第12次中期事業計画

# 第12次中期事業計画

＜2020年ビジョン＞

## 常に新しい製品と技術を創造し
## 「さすがYutaka」の価値を提供する企業となる

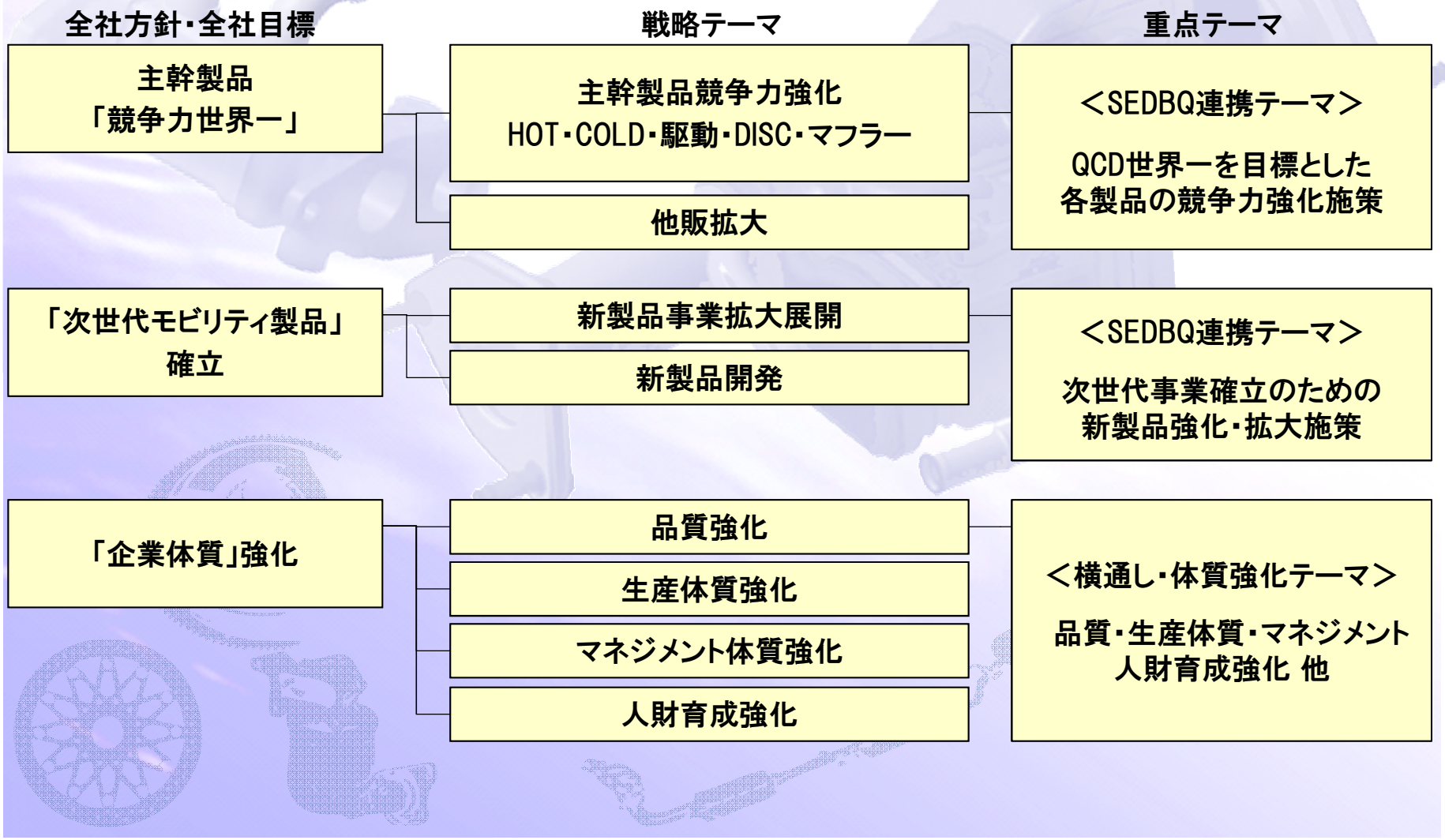
- ●主幹製品の競争力を「世界一」に高める
- ●新しいモビリティ時代を切り開く「次世代製品事業」を確立する
- ●全員がグローバルに「創造へのリーダーシップ」を発揮する

＜第12次中期スローガン＞



# 第12次中期事業計画

## ＜第12次中期事業計画テーマ概要＞




YUTAKA
Clean for the Future